

出題意図

1 番

問一 日本の高齢化社会の特異性についての理解を問うている。

問二 「ジェロントロジー」という概念をめぐる通説が示す高齢化社会に関するありきたりの政策とは異なった構想を理解することを通じて、常識にとらわれない考え方の大切さを問うている。

2 番

2 つのグラフから読み取れるジェンダーに関する社会問題を的確に把握し、これをまとめる力と考察する力があるかを問うている。

3 番

筆者が論じるところを的確に理解した上で、その主張に対する自らの考えを論理的に説明・表現することができるかどうかをみる問題である。

今日「あたらしい技術」である人工知能の飛躍的な発展によって、「特別な存在」としての人間のあり方が大きく問われるようになっているが、人間と科学（技術）との関係という点では古くて新しい問題とも言える。AI のある環境が不可避となりつつあるいま、人間はどう向き合うべきなのか、他人事ではなく、これから生きる自身の問題として「あたらしい技術」との関係性を問うている。